

# 平成21年3月期決算発表 補足資料

平成21年5月12日  
日本ガイシ株式会社

□はH21/1見直し

	20年3月期		21年3月期		前期比	22年3月期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比		見直し	構成比		
売上高合計	3,649	100	2,740	2,732	100	75	2,300	100	84
<海外売上高合計>	<1,798>		<1,433>				<1,000>		
単独売上高計	2,171	100	1,754	100	81		1,650	100	94
(うち輸出計)	(929)		(644)		69		(559)		87
グループ会社 NET売上高	1,478		978		66		650		66
電力関連事業	825	23	830	829	30	100	870	38	105
単独売上高	638	29		664	38	104	700	42	105
(うち輸出)	(214)			(269)		126	(263)		98
グループ会社 NET売上高	187			165		88	170		103
営業利益 (%)	87	(10.6%)	65	76	(9.1%)	87	80	(9.2%)	106
セラミックス事業	1,623	44	1,310	1,308	48	81	930	40	71
単独売上高	1,019	47		727	41	71	640	39	88
(うち輸出)	(512)			(246)		48	(187)		76
グループ会社 NET売上高	604			581		96	290		50
営業利益 (%)	438	(27.0%)	220	222	(16.9%)	51	45	(4.8%)	20
エレクトロニクス事業	797	22	600	596	22	75	500	22	84
単独売上高	470	22		363	21	77	310	19	85
(うち輸出)	(203)			(129)		63	(109)		84
グループ会社 NET売上高	327			233		71	190		82
営業利益 (%)	135	(16.9%)	35	30	(5.1%)	22	25	(5.0%)	82
エンジニアリング事業	441	12							
単独売上高	44	2							
(うち輸出)	(0)								
グループ会社 NET売上高	397								
営業利益 (%)	32	(7.3%)							
セグメント間売上消去	-37			-1			0		
為替レート(円/\$)	118		104	104			90		
為替レート(円/ER)	162		153	153			120		
営業利益	694	19.0	320	328	12.0	47	150	6.5	46
単独営業利益	366	16.9		133	7.6	36	65	3.9	49
経常利益	693	19.0	320	315	11.5	45	160	7.0	51
単独経常利益	377	17.4		150	8.6	40	95	5.8	63
当期純利益	460	12.6	220	245	9.0	53	110	4.8	45
単独当期純利益	226	10.4		40	2.3	18	55	3.3	136
研究開発費	132	3.6		129	4.7	97	115	5.0	89
単独研究開発費	106	4.9		111	6.3	105	100	6.1	90
設備投資(工事ベース)	214	5.9		304	11.1	142	250	10.9	82
単独設備投資	87	4.0		99	5.7	115	135	8.2	136
減価償却費	263	7.2		262	9.6	100	210	9.1	80
単独減価償却費	109	5.0		114	6.5	105	105	6.4	92

## 平成21年3月期 連結業績の要点

- 概況 過去最高益を更新した前期から大幅減収・減益  
セラミックス事業は世界的な景気後退による自動車販売の低迷により自動車関連製品の需要が減少し大幅減収減益。エレクトロニクス事業も半導体メーカーの設備投資減による需要減や景気後退による金属・電子部品の需要減により減収減益。電力関連は中国でのがいし需要や国内外での NAS 電池の需要が増加した一方で円高影響により微増収減益。
- 為替影響  
連結：売上△110億円、営業利益△41億円（前期 118 円/\$→当期 104 円/\$、162 円/ER→153 円/ER）  
単独：売上△60億円、営業利益△35億円（前期 116 円/\$→当期 101 円/\$、161 円/ER→145 円/ER）
- 事業別業績概況  
電力関連：前年同期比 4 億円の増収（為替影響△34 億円）。国内の送電用がいしや中国向けを中心に送電・変電用がいしの需要が増加したことに加えて、国内外で風力発電向け及び電力負荷平準化用途の電力貯蔵用 NAS 電池の需要が増加したことから円高影響も前期比微増収。利益は円高による為替影響が大きく前期比 11 億円の減益（為替影響△18 億円）。  
セラミックス：前年同期比 315 億円の減収（為替影響△53 億円）。世界的な景気低迷による自動車販売台数の低迷により自動車関連製品が前期比で大幅減収。燃焼装置は PDP 用熱処理炉の設備投資が一巡し減収。産業機器は堅調に推移し概ね前期比並み。利益は売上的大幅減少と円高の影響により前期比 216 億円の減益（為替影響 11 億円）。  
エレクトロニクス：前年同期比 201 億円の減収（為替影響△23 億円）。ペリウム銅製品は景気後退に伴って需要が減少した他、半導体製造装置用セラミックス製品は半導体メーカーの設備投資抑制による需要減により、それぞれ前期比減収。カーブリンター用機能部品も消費の落込みにより前期比減収。また連結子会社の双信電機は通信機器及び産業用機器市場の低迷と競争激化により前期比減収。利益は売上減少や円高の影響により前期比 105 億円の減益（為替影響 12 億円）。
- ROE 8.1%（前期 15.3%）
- 連結の範囲 連結子会社数 56 社 → 56 社  
持分法適用会社数 2 社 → 3 社（メタウォーター(株)を追加）
- 特別損失・海外グループ会社の留保利益  
自動車関連市場の急激な環境変化に対応し、SiC 製 DPF 製造装置を一部除却した他、事業再構築のための特別損失が発生(89 億円)。他方で税制改正等に伴い海外留保利益に係る繰延税金負債の取り崩しが発生(104 億円)。

配当：期末配当金を 11 円とし、中間配当金 11 円とあわせて年間 22 円とする予定。  
(6 月開催の定時株主総会に付議予定)

## 平成22年3月期 連結業績見通しの要点

- 前期比減収・減益 電力関連は堅調なものの景気後退の影響を受け自動車関連製品、半導体製造装置用セラミックス製品等の需要が低調なことに加え、円高影響もあって前期比で減収減益の見直し。  
電力関連：前期比増収。がいしは国内の送電プロジェクトや中国市場の需要増を見込むが、国内避雷装置の計画取付需要の減少や為替円高の影響により微減収。NAS 電池は国内風力向け及び海外向け物量増による増収を見込み、全体では増収。利益は円高も中国需要の取込みや NAS 電池の売上増により前期比増益の見直し。  
セラミックス：前期比減収。自動車関連は販売低迷による需要減に加え円高影響もあり前期比大幅減収。燃焼装置、産業機器は設備投資減による需要減で前期比減収。利益は物量減、市場価格の低下や円高影響等により前期比で大幅減益の見直し。  
エレクトロニクス：前期比減収。ペリウム銅製品は物量減や銅価格下落により前期比で減収の見込み。半導体製造装置用セラミックス製品は半導体メーカーの設備投資が引き続き低調なほか円高影響もあり前期比減収。カーブリンター用機能部品は物量減により減収。双信電機は情報通信関連が低調で減収。利益は機能部品の落込みや前期に計上した特許売却収益がなくなることから前期比減益の見直し。
- 為替影響  
連結：売上△130億円、営業利益△27億円（前期 104 円/\$→当期 90 円/\$、前期 153 円/ER→当期 120 円/ER）  
単独：売上△49億円、営業利益△28億円（前期 101 円/\$→当期 90 円/\$、前期 145 円/ER→当期 120 円/ER）
- ROE 3.9%（前期比△4.2%）
- 連結の範囲 連結子会社数 54 社  
持分法適用会社数 3 社

配当見込み：中間 8 円、期末 8 円の年間 16 円とする予定。

	20年9月中間期		21年9月中間期		前年 同期比
	実績	構成比	見通し	構成比	
	億円	%	億円	%	%
<b>売上高合計</b>	<b>1,523</b>	<b>100</b>	<b>990</b>	<b>100</b>	<b>65</b>
<海外売上高合計>	<828>		<430>		
単独売上高計 (うち輸出計)	977 (385)	100	700 (229)	100	72 59
グループ会社 NET売上高計	547		290		53
<b>電力関連事業</b>	<b>361</b>	<b>24</b>	<b>360</b>	<b>36</b>	<b>100</b>
単独売上高 (うち輸出)	283 (118)	29	280 (113)	40	99 96
グループ会社 NET売上高	78		80		103
<b>営業利益 (%)</b>	<b>31</b>	<b>(8.5%)</b>	<b>25</b>	<b>(6.9%)</b>	<b>81</b>
<b>セラミックス事業</b>	<b>797</b>	<b>52</b>	<b>420</b>	<b>42</b>	<b>53</b>
単独売上高 (うち輸出)	455 (176)	47	290 (77)	41	64 44
グループ会社 NET売上高	342		130		38
<b>営業利益 (%)</b>	<b>198</b>	<b>(24.8%)</b>	<b>10</b>	<b>(2.4%)</b>	<b>5</b>
<b>エレクトロニクス事業</b>	<b>365</b>	<b>24</b>	<b>210</b>	<b>21</b>	<b>58</b>
単独売上高 (うち輸出)	238 (91)	24	130 (39)	19	55 43
グループ会社 NET売上高	127		80		63
<b>営業利益 (%)</b>	<b>61</b>	<b>(16.7%)</b>	<b>-10</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>エンジニアリング事業</b>					
単独売上高 (うち輸出)					
グループ会社 NET売上高					
<b>営業利益 (%)</b>					
セグメント間売上消去	-0.3		0		
為替レート(円/\$)	106		90		
為替レート(円/ER)	162		120		
<b>営業利益</b>	<b>290</b>	<b>19.0</b>	<b>25</b>	<b>2.5</b>	<b>9</b>
単独営業利益	145	14.9	5	0.7	3
<b>経常利益</b>	<b>289</b>	<b>19.0</b>	<b>10</b>	<b>1.0</b>	<b>3</b>
単独経常利益	161	16.5	25	3.6	16
<b>当期純利益</b>	<b>188</b>	<b>12.3</b>	<b>5</b>	<b>0.5</b>	<b>3</b>
単独当期純利益	101	10.3	15	2.1	15
<b>研究開発費</b>	<b>57</b>	<b>3.8</b>	<b>55</b>	<b>5.6</b>	<b>96</b>
単独研究開発費	47	4.8	50	7.1	106
<b>設備投資(工事ベース)</b>	<b>167</b>	<b>11.0</b>	<b>130</b>	<b>13.1</b>	<b>78</b>
単独設備投資	50	5.1	75	10.7	150
<b>減価償却費</b>	<b>133</b>	<b>8.7</b>	<b>100</b>	<b>10.1</b>	<b>75</b>
単独減価償却費	56	5.7	50	7.1	89

平成21年9月中間期  
連結業績の要点

電力関連は中国での電力需要やNAS電池の需要が増加するも円高影響により微減収減益の見通し。

セラミックス事業は景気後退の影響から自動車販売台数が減少し、自動車関連製品の需要が減少するほか、円高の影響もあり減収減益の見通し。

エレクトロニクス事業も需要の減少に加え円高影響もあり減収減益となり営業赤字となる見込み。

全社では前年同期比で大幅な減収減益となるが、各利益は黒字を確保できる見通し。